機能追加ユニット　施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
尚、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書・仕様書は所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの施工説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この施工説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■安全上の注意

⚠ 警告

感電注意
- 相線式（１Ø２Ｗ，１Ø３Ｗ）及び回路電圧に合わせて選んでください。
  感電事故の防止ができません。
- ねじ締付け、及び電線選定は説明書にしたがってください。
  火災になる恐れがあります。

⚠ 注意

- ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。

■施工上の注意

- 分電盤は相線式（１Ø２Ｗ，１Ø３Ｗ）及び回路電圧に合わせて選んでください。
  回路方式　- 単相２線式（１Ø２Ｗ）　１００Ｖ
  - 単相３線式（１Ø３Ｗ）　１００Ｖ／２００Ｖ
- ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
  相を間違うと異常電圧が発生します。
- 導電部の接続ねじは、表１の適正締付トルク範囲内で確実に締付けてください。
- 導電部の接続ねじは、輸送中ゆるむ恐れがあるため増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。
  ブレーカに接続する電線サイズは表２より選んでください。
- ブレーカには単線２本を接続しないでください。
- 圧着端子、圧着工具はＪＩＳマーク品を使用してください。
  電線に適合した圧着端子を使用してください。

表１　導電部の接続ねじ適正締付トルク

ねじの呼び径	適正締付トルクＮ・ｍ
M4	１．２~１．６
M5	１．６~２．０
M6	３．０~４．５
M8	５．５~７．０

備考：機器端子M5圧着方式の場合は２．０~３．０Ｎ・ｍ

表２　主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐 ブレーカの定格電流	電線サイズ
20A	Ø１．６，Ø２．０
30A	Ø２．６，５．５~８．０㎟
40A	８．０~１４．０㎟
50A・60A	１４．０~２２．０㎟
75A	２２．０~３８．０㎟
100A	３８．０㎟

■設置上の注意

- 分電盤は、容易に操作、点検のできる場所に取付けてください。
  戸棚、便所、浴室などの内部には取付けないでください。
- 高温多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。
  機能を損ないます。
  （周囲温度は、最高４０℃最低－５℃の範囲内とし、２４時間の平均温度は３５℃を越えない場所に、相対湿度は４５～８５％の範囲内の場所に取付けてください。）
- 屋内で使用してください。
  屋外や雨のかかる場所には使用できません。
- 分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。
  凹凸のある場所へ無理に取付けないでください。
- 分電盤は、図１に示す範囲内で使用してください。
- 分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。

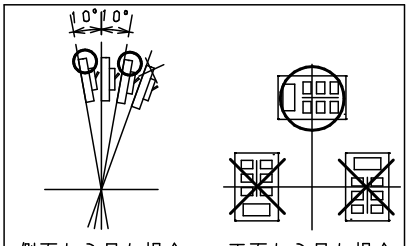


図１　取付可能角度

■ブレーカ使用時の注意

- 分岐回路を２００Ｖで使用するときは、必ず2Ｐ2Ｅの分岐ブレーカを使用してください。
- 線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障します。
- 不要な動作を防ぐため、商品に表示してある主幹ブレーカ定格電流の８０％以内でのご使用をお奨めします。

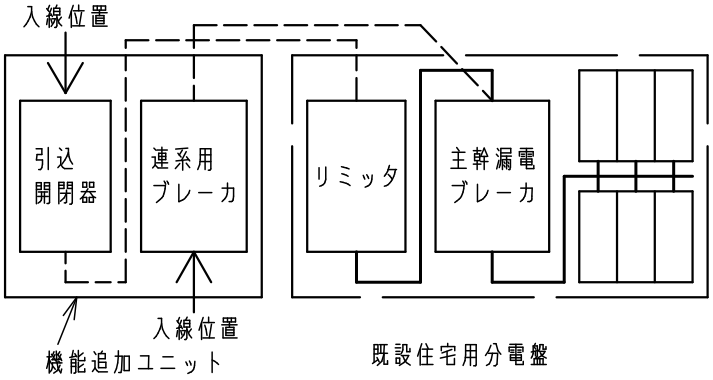
■機能追加ユニット施工上の注意

●Ｓ３・ＧＣ・ＦＣユニット

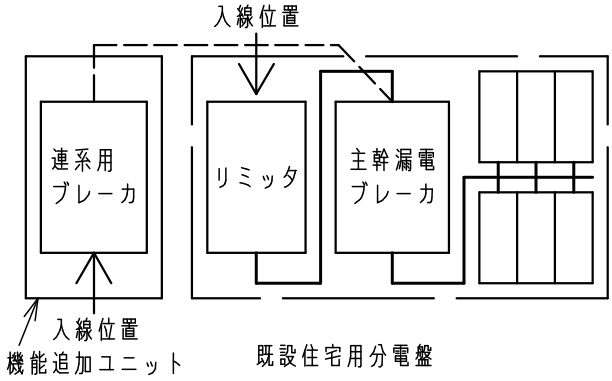
連系用ブレーカ（逆接続対応品）は、分散電源システムの発電側から逆潮流が起きるシステム向けのブレーカです。
一般商用電力回路の逆接続には使用できません。
逆潮流防止制御用のＣＴがある場合（ガス発電など）、取付位置はリミッタのあり・なしに関わらず主幹の一次側に取付けてください。

リミッタスペースありタイプ＜施工例＞

＜引込開閉器付＞

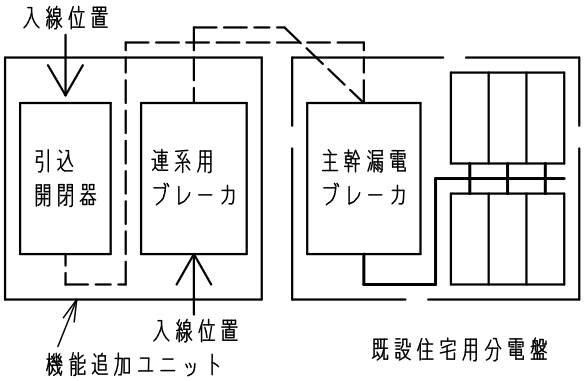


＜引込開閉器なし＞　※別に引込装置がある場合

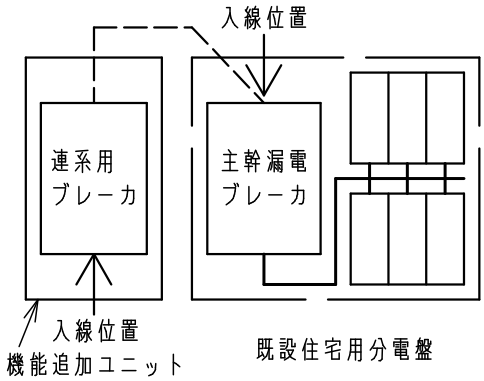


リミッタスペースなしタイプ＜施工例＞

＜引込開閉器付＞



＜引込開閉器なし＞　※別に引込装置がある場合



●ＬＡユニット

避雷器（ＬＨ−１３）と負荷機器の接地線はユニット内の接地端子に
接続し（図2）、１点接地としてください。
多点接地とすると、機器を壊す恐れがあります。接地端子から大地への
接地線は直径２．６ｍｍ（５．５ｍｍ²）以上のものを使用してください。
接地抵抗は、１００Ω以下（Ｄ種接地）で接地してください。

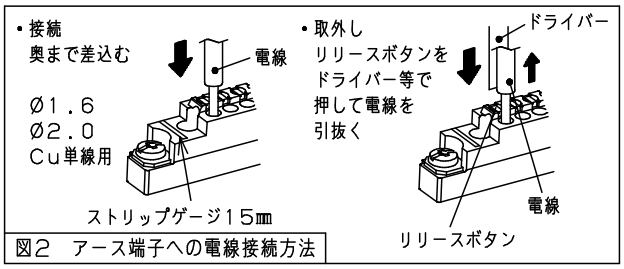


図2　アース端子への電線接続方法

■ＬＡユニット使用上の注意

避雷器の表示ランプ（ＬＥＤ）が点灯していれば正常、
消えていれば交換が必要です。交換は有資格者でなければ
出来ませんので、施工業者にご依頼をお願い致します。

施工業者名	
ＴＥＬ	施工年月日　　年　　月　　日

★　警告表示がかすれたり、破損した場合は警告ラベルの発注をお願いします。
仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたらお客様相談室にお問い合わせください。　　この施工説明書の内容は２０１０年１２月現在のものです。

日東工業株式会社
お客様相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原２２０１番地
ＴＥＬ（０５６１）６４−０１５２
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｎｉｔｏ．ｃｏ．ｊｐ

© NITTO KOGYO CORPORATION

C903393002